

鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）（H24年9月）、（コンクリート構造物）（R5年1月）、（鋼・合成構造物）（H21年7月）、（鋼とコンクリートの複合構造物）（H28年1月）、（基礎構造物）（H24年1月）、（土留め構造物）（H24年1月）に準拠

# Soil-JR

## 地盤反力特性算定プログラム(Ver.5.2)

### 【特徴・用途】

本プログラムは JRSNAP のオプションツールとして、群杭基礎などの配置条件および N 値、 $\phi$  値等の地盤条件から、JRSNAP 解析用の地盤ばね値や制限値を自動算定することができます。また、他の設計プログラムとの連携により、算定された基礎の応答値を照査することができます。詳細は「JRSNAP とオプションの更新一覧」をご覧ください。

The screenshot displays the Soil-JR software interface. On the left, a vertical menu lists various design programs: JRSNAP (静的非線形解析プログラム), JRBOX (開閉トンネル設計プログラム), JRKK (鋼管矢板基礎設計プログラム), JREP (抗土圧構造物設計プログラム), JRCG (ケーソン基礎設計プログラム), Input-JR, Output-JR, Soil-JR (highlighted), ReDisp-JR, LiJudge-JR, JRElastic, and VePP-RC. Below this is the '群杭入力条件' (Group Pile Input Conditions) dialog box, which includes fields for pile spacing, diameter, and soil properties. The main window shows the '出力選択' (Output Selection) dialog with various checkboxes for calculation results and output formats. On the right, a '結果図' (Result Graph) shows the effective resistance soil pressure distribution along the pile length, with values ranging from 900.0 kN/m² at the top to 1005.4 kN/m² at the bottom.

### 【動作環境】

- ① O S : Windows10®, Windows11® (タブレットモードを除く)
- ② C P U : 2 ギガヘルツ (GHz) 以上のプロセッサ
- ③ メモリ : 8 ギガバイト (GB) 以上が望ましい
- ④ プリンター : OS の動作環境に対応した機種
- ⑤ その他 : インターネットへ接続できる事(ライセンス認証用)

● 開発 : 公益財団法人鉄道総合技術研究所

● 発行 : (株)ジェイアール総研エンジニアリング(ソフト販売窓口)  
 〒186-0002 東京都国立市東 1-4-13 COI 国立ビル 3F  
 TEL 042-575-3821 E-mail [support\\_sale@jrseg.co.jp](mailto:support_sale@jrseg.co.jp) URL <http://www.jrseg.co.jp/>